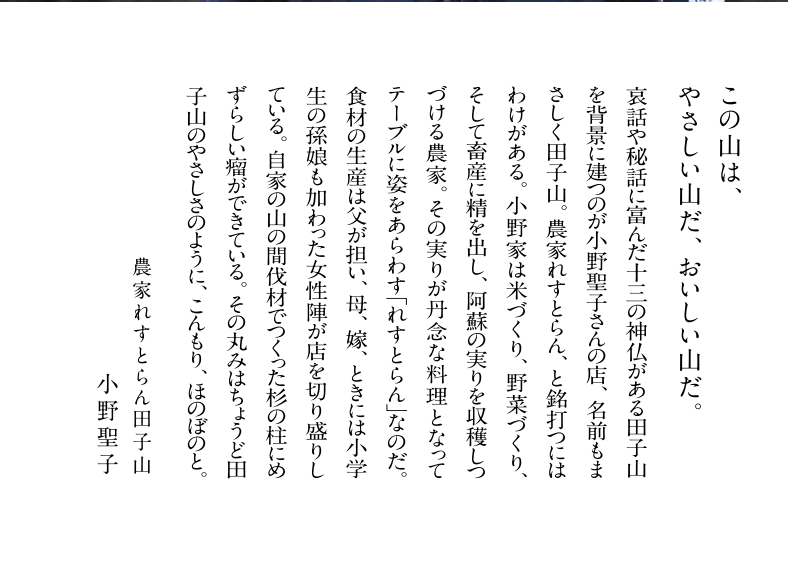




熱意だけをふところに、
若者は渡米した。

ベトナム戦争が連日マスメディアをにぎわし、日本の大学新入生たちのあいだに「五月病」という無気力病が流行していたころ、「英語はからつきしだめだったけど」、度胸とやる気だけを頼りに若き日の中川利美さんは農業研修生としてアメリカに渡った。大農場を有する大富豪の家にホームステイして学ぶ。見渡すかぎりの大地に度肝を抜かれた。現在、米作りと同時にあか牛の繁殖農家として精力的な活動をつづけている。後輩たちに手本にされることも多い。「アメリカで学んだことが今なお強力な栄養だね」。身体をつづかきこの仕事を、と決意している。

畜産農家 中川利美



この山は、
やさしい山だ、おいしい山だ。

哀話や秘話に富んだ十三の神仏がある田子山を背景に建つのが小野聖子さんの店、名前もまさしく田子山。農家れすとらん、と銘打つにはわけがある。小野家は米づくり、野菜づくり、そして畜産に精を出し、阿蘇の実りを収穫しつづける農家。その実りが丹念な料理となつてテーブルに姿をあらわす「れすとらん」なのだ。食材の生産は父が担い、母、嫁、ときには小学生の孫娘も加わった女性陣が店を切り盛りしている。自家の山の間伐材でつくった杉の柱にめずらしい瘤ができています。その丸みはちょうど田子山のやさしさのように、こんもり、ほのぼのと。

農家れすとらん田子山
小野聖子



自分のなかに
燃えているものを抱えていく。

十九歳の若者は阿蘇を離れ東京に出て、さらにミュージシャンとして生きていく決心をし、ハリウッドへ。たくさんさんの刺激と挫折を味わい二十五歳で阿蘇に帰ってくる。いま、精肉店カルキフーズ三代目主人である軽木欣弥さんは、こだわりの肉を扱う肉屋として、身体の内芯に燃えている「音楽」を封印はしない。情熱が自分の駆動力になっているからだ。「熱い気持ちを生まれ故郷にも等しく注ぎます」。坊中散策隊という地域づくり団体で積極的に活動する。信仰の山・阿蘇の三十六坊五十二庵。生まれ育ったその地の探索は、自分を探ることと少し似ている。

坊中散策隊 軽木欣弥

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局
(阿蘇市観光まちづくり課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

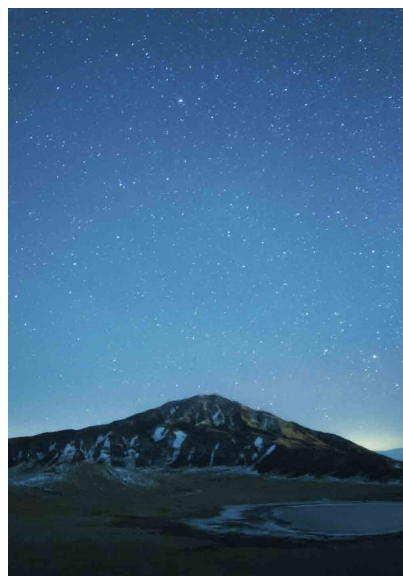
aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。



CONTENTS もくじ

- 04 阿蘇市誕生 10 周年記念式典
- 06 **特集** 阿蘇市誕生から 10 年のあゆみ
- 08 **合同特集** “笑顔の魔法”
- 10 4 月 1 日、阿蘇市生活相談センター開設
- 12 熊本県議会議員一般選挙 投票日：4 月 12 日
- 14 阿蘇市のニュースをお届けするフラッシュニュース
- 16 まちの話題
- 18 消防団員募集
- 19 人権作文 ▶ 山部 慈さん
- 20 市役所からのお知らせ
 - ▶ 資源ごみの回収について
 - ▶ 国民健康保険の加入・脱退
 - ▶ 住民異動届は余裕を持ってお手続きを！
 - ▶ 軽自動車の廃車手続きはお済みですか？
- 23 マイナンバー制度、始まります。
- 24 暮らしの情報
- 26 自慢の学校 ▶ 宮地小学校
- 27 図書館へ行こう！
- 28 暮らしカレンダー・お慶び・ご寄付
- 30 大事にしたい、懐かしい阿蘇の生活 No.36
- 31 地産地消クッキング
 - ▶ あんライスマン・カレーライスマン
 - さわかフレッシュマン ▶ 岡島 雄大さん
- 32 阿蘇ジオパーク探訪 ▶ 二重峠ジオサイト



標高が高く空気が澄んでいる阿蘇は、冬の晴天時にはきれいな星空を見ることができます。

草千里展望所からも、手が届きそうなほどの満天の星空を望むことができます。東を向けば阿蘇中岳火口を一望でき、時期によっては赤く噴石を上げるストロンボリ式噴火も見ることができます。

今しか見ることができないわがまち阿蘇の自然を満喫しませんか？

夢を追いかける青少年の声を届けます —

夢を追いかけて

私は、幼い頃初めて赤牛の出産に立ち会いました。この世に生まれてくるまで、数時間もかかる難産でした。その時の夜中じゅう牛に寄り添っている父の姿や獣医師さんの仕事に、とてもあこがれを抱きました。

将来、私も畜産関係の仕事に就き、世界中に阿蘇の赤牛を広めて行くという夢があります。実現に向けて一歩一歩努力している毎日です。

市原 朱沙

いちはら あやさ／波野中学校・3 年